

「限界突破 一段上進せよ」 体育大会 完全燃焼



迫力の戦い！「本物の女子力」



白熱！「玉東戦国絵巻」

五月二十一日、好天の下、第五十三回玉東中学校体育大会を、盛大に開催することができました。保護者、地域の方々、御来賓の皆様等、多数の方が御出ください、声援をいただきました。

生徒たちは二週間の練習の成果を見事に発揮し、大会テーマのとおり、まさにその「限界を突破」して、格段の成長を見せてくれました。中学生の若さ、青春の輝きに感動するとともに、熊本地震からの創造的復興へ向けて、玉東中発のかすかな灯火になったのではないかと思います。

「希望の虹」

平成二十九年  
玉東中学校便り 第3号

文責 田河



平成二十九年五月二十三日



勇壮！ 組体操（田原坂）



華麗！ we really like dance



感動の解団式

行事で生徒を伸ばす玉東中

この体育大会への取組を通して、本校の職員が目指してきたことは、「行事（体育大会）で生徒を伸ばすこと」です。そのためには、結果が全てではなく、取組のプロセスを大切にしていくことを共通理解し、指導にあたりました。

私は、練習のプロセスを見守る中で、生徒たちの真剣な態度、これに負けないほどの先生方の徹底指導ぶりを垣間見ました。この段階で、体育大会のねらいの達成を実感したところです。

今後、本校では様々な行事をとおして生徒たちに本物の生きる力を育んでいきます。

**アクシデント 発生**

ところで、本大会の「綱引き」で前代未聞のアクシデントが・・・。

生徒の戦いが終わり、三年生とその保護者の戦い、一勝一敗で迎えた三回戦の最中に、何と綱が、中央付近でパンという破裂音のような大きな音とともに切れてしまいました。

これには会場の全員が唖然。信じられない出来事でした。幸い、生徒・保護者に大きなケガはありませんでした。想定外の出来事でした。



綱が切れる直前の、白熱の綱引き